



男子大回転 2本目でトップタイムをマークし初優勝した大越龍之介（東海大）

大越 攻めて初優勝

男子大回転

○：男子大回転を制した大越は「優勝だけを狙っていた」。全日本選手権は「昨年、昨年と回転で連続2位に終わ

1回目転倒から逆転 ソチ見据え

棄権は回避したものの減速した。それでも首位と0秒29差の2位。失敗した割にタイム差がつかず、「これなら何とかなると思った」。「ガンガン攻めた」という2回目に逆転した。

21歳の大学3年生。北海道・東海大四高時代に全国高校大会史上初の2年連続2冠を達成し、昨季からワールドカップ(W杯)に参戦する。しかし今季はW杯得点を得ることができず、目標のバンクーバー五輪出場を逃した。「ショックだった。結果を残せなかった自分に、やり切れない怒りを感じた」という。

4年後のソチ五輪をはっきり見据える。「来季につなげるためにも勝つことに意味がある。タイトルにこだわると、19日の回転で2冠を狙う」。

全日本スキー選手権アルペン技術系第2日は18日、下高井郡山ノ内町志賀高原の西館山コースで男子大回転を行い、大越龍之介(東海大)が合計タイム2分14秒55で初優勝した。

大越は1回目が首位と0秒29差の2位。2回目にトップタイムをマークし、逆転した。0秒38差の2位に石井智也(東海大)が入り、全日本連盟強化指定選手が1、2位を占めた。1回目首位の高沢伸(専大)が3位に入り、県関係では松本勲人(白馬村ク)が5位、吉越一平(サンミリオンク・飯山南高出)が7位に入った。

バンクーバー五輪代表の皆川賢太郎(竹村総合設備)佐々木明(エムシ)は出場していない。



男子大回転 県勢最高の5位に入賞した松本勲人(白馬村ク)

松本5位力の差痛感

○：5位に終わった松本は「調子は良かった」季ワールドカップ(W杯)本は「調子は良かった」季ワールドカップ(W杯)本は「調子は良かった」

W杯スキー

成瀬予選落ち

距離男子スプリント

【ストックホルム共同】ノルディックスキーのワールドカップ(W杯)距離男子スプリントに出場した大越、石井の全日本メンバーに勝つことでアピルする狙いだったが、「まだ力の差がある」と肩を落とした。

1回目は雪の塊 2回目は軟雪にスキーをどられてタイムをロスした。もともとスキーをどられやすい欠点があり、「きょうは、もろに悪い癖が出た」と振り返った。

得意の回転で巻き返しを期す。「しっかりと対策を練っているので大丈夫。何とか勝ちたい」と19日のレースに切り替えた。

- ▽男子大回転 ①大越龍之介(東海大)2分14秒55(1分7秒24、1分7秒31)②石井(東海大)2分14秒93(1分7秒41、1分7秒52)③高沢(専大)2分14秒95(1分6秒95、1分8秒00)④小林(立命大)2分15秒62(1分7秒73、1分7秒89)⑤松本勲人(白馬村ク)2分15秒95(1分7秒64、1分8秒31)⑥佐藤(カンタハート)2分15秒98(1分7秒83、1分7秒40、1分8秒33)
- (標準差3.08は、旗門数11回目48、2回目45)